



ぼらんていあ倶楽部

発行：西東京ボランティア・センター 〒202-0013 西東京市中町 1-6-8 保谷東分庁舎内

TEL 0424(38)3771 FAX 0424(38)3772

ランチ：たなしボランティア・コーナー 〒188-0011 西東京市田無町 5-5-12 総合福祉センター

TEL 0424(66)3070 FAX 0424(66)3555

「あ・た・ま」を貸してください！

山根 俊子

私は知的にハンディのある子の親になって17年になります。

ひとり娘のゆうきに難病があり、それが知的に発達の遅れを伴うとわかった瞬間から、病気と発達の遅れと、世間・社会の日常的な区別、大きな差別との戦いの連続でした。そんな日々の中で、私は少しずつ強く（無意識のうちに）被害者意識のような偏った考えをもつようになっていました。

とかく歪んだ考え方をしがちな私を、自然な考え方に戻してくれるのが、ゆうきを通して出会った人々でした。ある時は先生だったり、友人だったり、とくに私を支えてくれているのは「ぴゅあ」...（住民参加によって障害児・者を支えていこうと、現在NPO申請中のグループ）の仲間たちです。いつも「ぴゅあ」の仲間は、自然にゆうきに接してくれます。

ある日、ゆうきが発達しないのは「あなたができないと思い込んでいるのに問題があるかも」と言われました。その時ハッとしました。“障害児”“障害児”と言われ、自分の娘に“これは無理だろう”とか“これはできないだろう”とか、バリアをつくってしまっていたのは、私自身だったのだと気がきました。

足の不自由な人が車椅子を使うように、「あたま」が少し不自由なこの子に「あたま」を貸せばいいんだと考えました。「あたま」を貸すって???笑われそうですね。

“あ”=ありのままを受け入れて “た”=たっぷりの時間をかけ “ま”=まっすぐな目で向き合っていく
そう思ってゆうきとゆっくりした時間を共有しようと、まずは調理だと2人でやり始めたら...

不思議！びっくり！実はゆうきは調理大好き人間だったのです。今ではゆうきがお邪魔虫ではなく、本当に私の手助けをしてくれています。バリアフリーとよく言われますが、我が家の場合、一番のバリアは私自身だったのです。

これからは「障害児の親」ではなく、「ゆうきの親」としてゆうきと出会う人々と楽しみながら、ゆうきの歩みに合わせてのんびり生きていきたいと思っています。

みなさん！ゆうきを街で見かけたら「あ・た・ま」を貸してくださいね！！



おしゃべり会

ファーストステップ講座

毎月第3土曜日はおしゃべり会を予定しています。個人で活動する場合、自分の思いを伝えたり他の方の意見を聞く機会は少ないものです。活動の喜び、疑問、不安などを気軽に話し合ってみませんか。これからボランティア活動を始める方もぜひご参加ください。

日時：11月16日（土）午後3時～4時30分

場所：たなしボランティア・コーナー活動室

今年は「共に生きる」をテーマに、様々な立場の方をお招きします。11月のゲストは結婚13年目に授かったゆうきちゃんに障害があるとわかったときからの「泣き・笑い・怒り・感動」の日々を山根俊子さんに語っていただきます。「ぴゅあ」の仲間も賑やかに参加します。

日時：11月16日（土）午後1時30分～3時

場所：たなしボランティア・コーナー活動室

ボランティア・市民活動センターへ

西東京ボランティア・センターは2002年12月1日から『西東京ボランティア・市民活動センター』に名称変更をいたします。ボランティア活動以外の市民活動も盛んに行われる現在、「社会や地域の課題解決を目的とし、自発的、継続的に行う社会に貢献する活動」を広く支援し、一緒に地域社会を作っていこうと考えています。

はつきいねっと

は、西東京市とその周辺で何らかの障がいを持つ子どもの親たちが中心となっている民間の市民グループです。わたしたちは、すべての子ども達がその地域で暮らすことがあたりまえの社会、それを認め合う社会であることを望んでいます。そして、子どもたちにあった療育が成され、子どもたち自身もいきいきと学習できる環境が与えられることを望んでいます。そのためには、自ら学ぶこと、学んだものをなかまと共有すること、地域社会をよりよくするための働きかけをすること、自らその働きかけに参画すること、そしてなによりも地域で暮らすことを楽しむことが大切だと思っています。また、地域を越えて、子どもたちに対する療育をすすめる全国の方々、自ら学習に取り組む子どもたちと連携し、交流を深めていきたいと考えています。具体的には、就学に向けての経験交流、お父さんお母さんの交流の場、子どものための英語教室、親子パソコン教室などを開催しています。【事務局】西東京市保谷町 6-10-38 根本宅 2 F TEL 0424-78-9751 (根本) FAX 0424-65-9871

Email mail@hackienet.org

Website <http://www.hackienet.org/>

「ふらっくす・ふぁーむ」は西東京市・小平市近辺を中心としたダウン症の子どもを持つ家族の会で、1999年に結成されました。会名の「ふらっくす・ふぁーむ」は「Flax Farm」つまり「麻畑」です。これはことわざの「麻の中の蓬(よもぎ)」にちなんで名づけました。麻は元々まっすぐに成長し、蓬は曲がりやすい(柔らかい)特徴を持っています。しかし、麻畑の中に育つ蓬は自然とまっすぐに育つもので、善い友に交われば自然と善い成長ができる、という物事の例えです。もちろん、これは個性を否定する、という意味ではありません。障害者が疎外された社会ではなく、誰しものが共存できる社会にしたい、という願いを込めた会名なのです。活動日は毎月第1土曜日で、現在は就学前の子ども19名とその家族で構成されています。育児や医療機関・就学問題などの情報交換(ママたちのグチも少々)が活動の中心ですが、不定期にバーベキューや海水浴に出掛けたり、パパだけの集まり(通称:おやじの会)もあり、イベント盛沢山です。今後は就学を迎える子どもも多く、障害児の受入に消極的な現在の教育のあり方についての議論や行政への働きかけなど、具体的な活動も増やしていきたいと思っています。

【連絡先】

ふらっくす・ふぁーむ

加藤万里子 西東京市北町 5-2-2

TEL/FAX 0424-21-4895

障害児・者の余暇を応援

団体名	活動内容	活動日時/場所	連絡先
かるがも	障害のある子(小学生~20歳くらい)のプール活動。水泳が得意な方からウォーキング程度まで幅広くボランティアを募集	第2・4土曜日 10:30~12:30 武蔵野市営プール	松田 23-0974
土曜クラブ	第2週(10:00~12:00)は調理、第4週(10:00~16:00)はハイキング、遊園地などの野外活動。ボランティア募集	第2土曜日 10:00~12:00 田無総合福祉センター	八木 66-3207
肢体不自由児の会	ボランティアと一緒に近隣の公園やボーリングに出かける。会員募集	第2土曜日 10:00~16:00	古谷 23-8903
ほうやおもちゃ図書館	障害を持った子と地域の子もたちが遊びを通じてふれあう。手遊び、紙芝居や読み聞かせの得意なボランティア募集	第1・3土曜日 10:00~12:00 保谷障害者福祉センター	高橋 21-1709
NPO ポケット	ワクワクと過ごせるような「まち創り」を目指し、様々な事業を展開する。障害児放課後活動・リトミック・エアロビクス等	第1・3水曜日 16:00~17:00 田無総合福祉センター他	佐藤 64-5686
カスタネット	リトミック活動(専門の音楽療法を習得した指導員によるリズム遊び)。楽器の保管場所の提供・運搬のボランティア募集	第2・4土曜日 15:00~17:00 田無小学校など	安元 58-0868
ぴゅあ(NPO申請中)	和太鼓・生け花・手話歌など子どもも大人も楽しめる場作り。会員は障害・健常を問わない。一緒に活動する会員募集	活動日は2ヶ月前に決定 田無公民館	山根 67-7158
めだか	障害をもつ子ももたない子も共に遊ぶ子ども会(0歳児~60代までバラエティーに富む構成)。室内外のレク・料理など	第2・5日曜日 12:00~18:00 田無公民館	田中 61-4771
さざんかクラブ	スポーツ・工作・音楽などを通して放課後の余暇を充実する。ボランティア募集	水・土曜日 14:00~17:00 保谷障害者福祉センター他	川崎 65-7890
ばんびの会	知的障害児を対象に外遊び、調理、月1回の遠足など楽しいひと時を過ごす。スタッフ募集	日曜日 12:45~17:30 田無総合福祉センター他	石井 67-0560
ととろクラブ	肢体不自由児・者の土日のレクリエーション、ショートステイ介護サービス等。ボランティア常時募集	随時 芝久保町 1-25-16-101	高橋 50-0991
NPO ウーノの会	障害児・者とその家族の地域生活支援。デイサービス・ガイドヘルプ・子ども英語教室等。土日外出時のボランティア募集	随時 住吉町 3-12-19	24-7775

ハンディキャップサポートウーノの会

はじめまして「ウーノの会」です。障害をもつ人とその家族が地域の中でいきいきと暮らすために各種サービスを行い、障害をもつ人とまたない人が互いに支えあう地域づくりを目的としています。

どこにあるの?・・・西武池袋線 ひばりが丘駅より徒歩3分の好立地

何するところ?・・・主にしょうがい児・者のデイサービス・ガイドヘルプ・緊急一時保護預り・宿泊サービス
送迎サービス・アフター3・また、イベントとして食事会、夕食会、おでかけ体験隊など
など「ウーノの会で出来ないことはない!!」と言われるよう、どんなニーズにもお応えし、あらゆるサービスを提供していく予定です。

そして・・・活動に参加する登録スタッフ、イベント等のサポートボランティアを募集しています。

【連絡先】西東京市住吉町3-12-19

TEL/FAX 0424-24-7775

NPO紹介

活動レポート 新たな経験

定年退職後、ふとしたことから障害者施設と高齢者施設のボランティアになり、色々経験する中でとくに目新しかったのは、視覚障害者のためのパソコン入力です。なお、入力したものは音声に変換されます。医学書で、目次と本文と図表がありますが、文章をどう編集すれば視覚障害者にとって理解しやすく（聞きやすく）なるかなど、最初は手探りでしたがメールの交換と打ち合わせを通じてポイントがつかめ、現在は14件目を入力中です。別の人からは年賀状を音声入力するために、「作成マニュアル」の要約と入力を頼まれこの時初めて音声入力の方法を知りました。一方で、私より年上の人から学ぶこともあります。ある施設の交流会で、90代の女性の車椅子を介助して動物園に行きましたが、お弁当を残さず食べ、話し好きでおまけに明治時代の童謡を歌い、別れ際には「アリガト、アリガト」と言う。長寿の人のお手本を見た思いでした。今後は少しずつレポトリーを広げたいと考えています。

永田 慧

活動レポート 障害は美しいものです

多田 牧子

4年に一度の障害者インターナショナル(DPI)世界会議が、札幌で10月15日から18日まで開催された。約3,000人のメンバーが世界中から集まったが、上記はその中のアメリカ人パネリストの表現である。「けれども、とても大変なものです」と続く。

私は西東京市在住の女性の介助ボランティアとして出席することができた。会議は2日目から10の分科会に分かれ、人権や条約、アクセス(IT関連)等について、白熱した討議がかわされた。その中で特に印象に残ったのは、メンバーが「病院や施設という刑務所から脱獄し」(日本人パネリスト談)、自信をもって自分の生活を選択、決定、管理する『自立生活』という考え方と、その場合最も重要で役に立つのは、医師の論文や政府の援助ではなく、同じ障害を持つ者同士の情報や、話し合いであるという考え方である。途上国やアジアの『自立生活』のむずかしさも話し合われた。伝統的に障害者の面倒は家族がみるという考えが根強いからである。英語やフランス語での発言は、会場横の大きなスクリーンに即座に映し出され、手話通訳や同時通訳のイヤホンが皆の理解を助けた。私の介助した女性が熱心にメモをとっている姿が忘れられない。貴重なボランティア体験となった。

Q&A ボランティア保険

Q 活動先のお宅で、とても高価な花瓶を誤って割ってしまいました。現物を買って弁償したいのですが、保険で『全額』補償が受けられますか？

A 全額は無理です

そもそもボランティア保険では、物が壊れたような賠償責任事故の場合、「修理費」を賠償の対象と考えているので、花瓶のように跡形がなくなってしまう、または、修理不能の場合(全損)は新品購入ではなく「時価」になります。買った当時5万円だった花瓶だとしても10年使ったものでは元の金額は支払われません。

Q ボランティアグループのメンバーが「ボランティア活動」自体ではなく、「活動について打ち合わせるため」集まるような場合でも、保険の対象になるのでしょうか？

A 補償対象になります

打ち合わせ場所への往復途上で起こった傷害事故(自動車にはねられるなど)はもちろんのこと、活動のための学習会・研修会・会議なども含まれます。ただし、合理的経路からそれた場合や、ボランティア活動とは何ら関係ない行動から起きた事故は原則として補償の対象ではありません。ご注意ください。

実際の対応は事故のケースによって微妙に異なりますのでご注意ください。

- 編集にあたり台東ボランティア銀行情報誌「わっしょい」から転載させていただきました -

泉小学校に通う4年生の男子です。視覚障害があるため、体育の授業と一緒に付き添い運動の補助をしてくださる方を募集します。曜日は月曜日が3校時(10:45～11:30)、金曜日が1校時(8:50～9:35)です。体育の授業内容や補助の内容などは、担任の先生と相談しながらお願いしたいと思います。

本来、体を動かすことは大好きで何でもやってきましたが、高学年になってくると、例えばバスケットボールのような球技になると、ゲームと一緒に参加したりすることは難しくなってくると思われれます。そのような時に、補助の方と一緒にドリブルやパスのような練習ができれば少しでもその球技を知ることができます。

今までハンディを持ちながらも先生方、友達、ボランティアの方など多くの人に支えられ、学校行事にも積極的に参加してることが出来ました。これからもこの地域で頑張っていきたいと思っていますので、ぜひお力をお貸しください。よろしくお願ひします。
(住吉町)輪島

市民スポーツボランティア

東京スタジアムをホームスタジアムとするFC東京が、試合運営をサポートするボランティアのメンバー登録を受け付けています。申し込みはFC東京・市民スポーツボランティア事務局 TEL/FAX 0424-88-6280 へ

FC東京

東京スタジアム



車椅子サポート

車椅子での来場者へのチケットもぎり
スタジアム内での誘導・介助
(観客席・トイレ・売店等への移動)
試合終了後のスタジアム外への誘導
11/24(日) vs 浦和レッズ 12:00 集合
申し込みはたなしボランティア・コーナーへ

青い鳥 平成12年4月に開設しました介護老人福祉施設「青い鳥」です。場所は西原町2丁目で、新青梅街道沿いのマクドナルドの隣にある茶色の建物です。「人に愛を、明るく、楽しく」をモットーに職員一同入所者のお世話に取り組んでいます。「青い鳥」といっても老人ホーム?と知っている方は少ないようです。現在入所50名、ショートステイ12名、デイサービス25名のサービスを提供させていただいております。入所されているお年寄りも、自由に外出することが難しく、地域の方々との交流を通して、地域に開かれた施設を目指しております。お気軽に施設見学にいらして下さい。

ボランティア募集

日時: 日～土曜日までの都合の良い日
(午前の部) 10:00～12:00 (午後の部) 13:00～15:00

内容: 話し相手・縫い物・洗濯物仕分け
特別養護老人ホーム 青い鳥 (担当) 瀧澤
西東京市西原町2-2-11 TEL0424-67-7736

親の家 デイサービスセンター (担当) 北島

内容: 掃除(16:00～17:00)・・・ホールやトイレ
包布交換(11:00～12:00)・・・水 or 木曜日
活動補助・話し相手・お茶出し
(午前の部) 10:30～12:00 (午後の部) 13:00～16:00
武蔵野市八幡町4-3-18 TEL0422-55-0507

谷戸 高齢者在宅サービスセンター(担当)中島

内容: ゲームその他プログラムの雰囲気作り
外出付き添い・話し相手
西東京市谷戸町3-23-8 TEL0424-25-4626

【ふらっくす・ふぁ～む】 ダウン症の子を持つ家族の会
日時: 毎月第1土曜日 14:00～16:00
内容: 親の話し合いの間、ダウン症児ならびにその兄弟姉妹の保育(2～3歳を中心に15人程度)
場所: 多摩小平保健所
ボランティア: 4～5名

【エバグリーン田無】 老人保健施設
日時: 毎月第2・4水曜日 13:00～15:30
内容: 利用者を対象に音楽療法を行っているが、伴奏担当者が転居のためキーボード奏者を急遽募集
場所: エバグリーン田無(西東京市緑町3-6-1)
連絡: 佐久間 TEL042-339-5055

【ポケット】 障害を持つ子の放課後活動等
日時: 11/11・12/2・12/16・1/20・2/17・3/10
9:30～12:00
内容: 出張おもちゃ図書館
場所: 母子保健センター(田無町4-17-14)
連絡: 佐藤 TEL0424-64-5686

【緑寿園】 高齢者介護総合福祉施設 (担当) 郷田
配膳手伝い・話し相手・陶芸補助(水曜日のみ)
日時: 毎週または隔週の月・水曜日 10:00～15:00
水曜日は午前の部(10:00～12:00)のみも可
月曜日は午後の部(13:00～15:00)のみも可
入浴後の安らぎ介助(移送・水分補給・整髪)
日時: 毎週または隔週の月・木曜日 10:00～15:00
午前の部(10:00～12:30)のみも可
西東京市新町1-11-25 TEL0424-62-1188

上記のお問い合わせは、たなしボランティア・コーナーへ Tel 0424-66-3070

* ぼらんていあ倶楽部は市内の次の施設、機関でも入手できます。ご利用ください。
西東京市社会福祉協議会 西東京ボランティア・センター たなしボランティア・コーナー 市役所
公民館 図書館 地区会館 郵便局 老人福祉センター 福祉会館 消費者センター
こもれびホール ふれあいセンター スポーツセンター ファミリーマート(中町店)